

令和3年1月21日
於
府中市立教育センター

令和3年第1回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

令和3年第1回府中市教育委員会定例会議事録

1 開 会 令和3年1月21日(木)

午後2時00分

閉 会 令和3年1月21日(木)

午後2時56分

2 出席者

教育長 浅沼昭夫 委員 日野佳昭

委員 平原保 委員 新島香

委員 増淵達夫

3 欠席者

なし

4 出席説明員

教育部長 赤岩直 文化スポーツ部長 関根滋

教育部副参事兼指導室長 文化生涯学習課長 二村善久

並木茂男 文化生涯学習課長補佐 楠本順子

教育総務課長 矢ヶ崎幸夫 ふるさと文化財課長 江口桂

教育総務課長補佐 矢島彩子 ふるさと文化財課長補佐 桐生光章

学校施設課長 町井香 市史編さん担当主幹 英太郎

学校施設課長補佐 遠藤勝久 スポーツ振興課長 市ノ川恵一

学務保健課長 佐伯富丈 スポーツ施設担当主幹 古田実

給食センター所長 谷本耕一 図書館長 平野妙子

指導室主幹 目黒昌大 図書館長補佐 田口宏治

統括指導主事 吉田周平 美術館副館長 相馬修央

統括指導主事 菅原尚志 美術館副館長補佐 鎌田享

指導主事 進藤智洋

指導主事 蓮沼喜春

指導主事 國廣浄和

指導主事 林由佳子

5 教育委員会事務局出席者

教育総務課係長 元村考呂

教育総務課事務職員 森菜摘

議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第1号議案

令和3年度予算に対する意見の聴取について

第2号議案

令和2年度府中市教育委員会表彰について

第3号議案

令和3年度学校医等の委嘱について

第4 報告・連絡

- (1) 第11回学校施設老朽化対策特別委員会開催報告について
- (2) 府中第三小学校及び府中第六小学校改築事業設計者選定委員会の答申について
- (3) 令和3年度八ヶ岳府中山荘臨時休館日について
- (4) 令和3年度社会教育施設の臨時休館日等について
- (5) 市史刊行物『市史編さんだより』第10号の発行について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後2時00分開会

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまより、令和3年第1回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の議事録署名員は、教育長のほかに増淵委員にお願いをいたします。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

◇

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。お願いします。

（「はい」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 本日の議事の運行についてでございますが、新型インフルエンザ等特別措置法第32条第1項の規定に基づき、政府による緊急事態宣言が出されたことに伴い、府中市教育委員会会議規則第17条に基づき、日程第4 報告・連絡につきましては、事務局からの説明は割愛することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

傍聴の方に申しあげます。本日の第1号議案につきましては手続未了のため、第2号議案については個人情報に記載されているため、資料を省略してお配りしております。また、本日の報告・連絡につきましては、資料の配布のみといたしますので、ご承知おきください。

◇

◎第1号議案 令和3年度予算に対する意見の聴取について

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、日程第3、第1号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○教育総務課長補佐（矢島彩子君） それでは、第1号議案「令和3年度予算に対する意見の聴取について」ご説明いたします。

この議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、令和3年度予算案を本年第1回市議会定例会に提案するに当たり、市長から教育委員会へ意見聴取の依頼がございましたので、お諮りするものでございます。ご審議を踏まえ1月22日までに、市長からの依頼に対する回答を行うことになっておりますので、よろしくお願ひいたします。

なお、これからご説明する予算額につきましては、教育部及び文化スポーツ部各課の歳入予算見積額及び歳出予算要求額をまとめたもので、確定額ではございません。まとめた後に、財政当局による調整等があり、金額が変更される箇所もございますので、あらかじめご承知

おきください。

それでは、概要を説明させていただきます。

初めに、歳入についてご説明いたします。表紙をおめくりいただき、A4縦の「令和3年度教育関係歳入予算案 総括表」をご覧ください。

全体では、令和2年度予算に比べまして、9億4,287万3,000円の増となる30億4,391万2,000円となっております。諸収入など額が減っている項目もございますが、国庫支出金や都支出金につきましては増加しております。これは府中第八小学校及び府中第一中学校の改築工事に伴う国庫補助金の増や、小中学校のトイレ改修整備等に伴う都補助金の増などによるものでございます。

続きまして、歳出についてご説明いたします。議案の最終ページ、参考資料の「令和3年度府中市の教育に関する歳出予算」をご覧ください。

概算ではありますが、令和3年度の一般会計歳出予算全体としては、約1,099億円の見込みとなっております。この予算編成に当たっては、安全で新しい生活を送れるよう、新型コロナウイルス感染症発生前と異なる新たな未来を創ることを目指す「新しい未来を拓く」、地域における人と人とのつながりを高め、誰も置き去りにしない安心して暮らせる生活を目指す「信頼の絆を築く」、先人が築き上げたまちの魅力に磨きをかけ、にぎわいと活力を感じるまちづくりを目指す「洗練の魅力を磨く」という3つのテーマが織り込まれております。

一般会計歳出予算額でございますが、令和3年度は前述のとおり、全体ではおおむね1,099億円となっております。このうち教育費は191億8,160万円で、割合としては17.4%を占めております。

次に、令和3年度教育費の内訳でございますが、ご覧の表のとおりとなっております。この表の一般会計歳出予算額における教育費の額及び令和3年度教育費内訳における合計額は、学校教育及び文化・スポーツの施策以外の教育費予算も含んだものでございます。

最後に、教育費の主な新規、レベルアップ、投資的事業についてご説明申し上げます。

初めに学校教育についてでございます。新規事業といたしましては、クラウド型学習支援サービスの導入を、レベルアップ事業といたしましては、クラウドサービス活用研修の実施を、投資的事業といたしましては、府中第八小学校、府中第三小学校、府中第六小学校及び府中第一中学校の校舎等改築事業のほか、校舎等整備事業として、中学校体育館の空気調和設備設置工事を行ってまいります。

続きまして、文化・スポーツについてでございます。新規事業といたしましては、古民家保存活用事業を、レベルアップ事業といたしましては、平和啓発事業を、投資的事業といたしましては、郷土の森博物館整備事業として常設展示室等天井改修工事、美術品購入事業、体育施設整備事業として市民陸上競技場外壁等改修工事及び体育館整備事業として地域体育館屋上等改修工事を行ってまいります。

なお、学校教育及び文化・スポーツ施策の詳細につきましては、A4縦の「令和3年度教育関係歳出予算案 総括表」及びA3横の同内訳表をご参照ください。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますでしょうか

か。

○委員（平原 保君） 小学校費の歳出の項目についてなのですが、セカンドスクールの項目が減になっており、その増減の理由が宿泊数の減のためと書いてあります。来年度についてはなぜ宿泊数を減にして、どのような計画をしているのか、内容について伺いたいのが1点です。

それから2つ目は、中学校費の中で四中のアリーナに対する昇降機のこと書いてありますが、これはほかの学校との関連で計画的にやるものなのか、四中に何か特別な事情があって設置するのか。2点伺いたいと思います。以上です。

○学校保健課長（佐伯富丈君） 初めにセカンドスクールの件でございますけれども、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが予想されますので、ウィズコロナにおける取組として、4泊5日を2泊3日で実施するものでございます。従来、4泊5日ですと5月から夏休みを除く10月まで日程がびっちり入っております、それを2泊にすることでコマが大分空きますので、例えば感染症の影響で前半に実施できなかった場合に、延期や自由に日程をずらすことが可能になることや、今まで2校同時に行っていた学校も1校ずつ行けることによって、1部屋の宿泊の児童数を減らして部屋の密を避けることができるなど、そういった対策もできることから2泊3日で実施を予定しております。

○学校施設課長補佐（遠藤勝久君） 2点目の四中のエレベーター工事についてですが、市内の小中学校のうち、二中から七中の6校につきましては、体育館と武道場が重層構造になっている形態となっております、体育館が地下にございます。この中で四中を除いた5校については、災害時の活用なども踏まえまして、既にエレベーターを設置しております。四中につきましては、現在エレベーターの設置ができていないというところから、災害時の利用等を想定しまして、バリアフリー改修を図るものでございます。

○委員（平原 保君） 分かりました。まず1点目の宿泊については、コロナ対策で子どもたちの安全とか健康を守るため、それからゆとりのある計画をして、臨機応変に対応できるということで理解できました。ありがとうございます。

それから2点目については、確かに四中はアリーナを下まで降りていくと、かなり深い重層構造になっておりまして、他校にはもう既に設置されているということから、四中に設置するということの意味がよく分かりました。ありがとうございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。

○委員（増淵達夫君） 内訳で2つ教えてください。

1つ目はスクールソーシャルワーカーについて、あまり今年度は大きな話題にならなかったかなと思うのですが、現在の状況、それから成果、課題、そんなところがどんな状況なのかというところを教えてください。大きな変動はないのかなと見ていますけれども、その状況を教えていただければと思います。

2つ目が、歳入予算について道徳教育推進拠点の事業ですとか法に関する教育推進事業、これは都の指定が終了するためということで皆減となっているのですが、次年度から国や東京都からの研究指定というものも出てくるのではないかなと思うのですが、もしそれに応募するとなったら、この後手続としてはどういうふうにしていくのか、その点も教えていただければと思います。

○**統括指導主事（吉田周平君）** スクールソーシャルワーカーの今年度の活動状況においてご報告いたします。

こちら3名のスクールソーシャルワーカーが月額制の職員として週4日働いてございます。そこで小中学校33校を、中学校区を中心とした学校担当制を3名のスクールソーシャルワーカーで運用してございます。

現状、各学校の不登校児童生徒に対する支援を重点的に行っておるところでございますが、不登校対策についてのコンサルテーションや各学校に対するコンサルを行うことができるようになり、不登校児童生徒に対する実際的な支援のほかにも、校内における不登校対策を重層的に支援していく組織的な対応を、少しずつ図っているところでございます。

また、今後の課題といたしましては、今、33校を3名のスクールソーシャルワーカーで運用しているところですが、学校からの認知も大分進んできているところでございますから、今後学校からの需要が多くなってくることを予測しまして、人数の増というところも、今年度の成果を考えて、また検討していかなくてはいけないということが課題となっております。

○**指導室主幹（目黒昌大君）** 続きまして、2点目の研究指定校に関するご質問についてお答えさせていただきます。

予算上は、現在指定校となる事業がないことから、全て皆減または新規での計上がないという形になってございますけれども、募集がございましたら、予算計上があるないにかかわらず応募はさせていただいて、内定されましたら必要に応じて予算を補正していくというような流れになりますので、そのときの状況に応じて応募してまいりたいと考えております。

○**委員（増淵達夫君）** ありがとうございます。1点目のスクールソーシャルワーカーは、基本的にはそれぞれの自治体が要望すれば、ほぼそれを認めてもらえるような状況にあるのかなと思います。33校で3名で、今の不登校の状況などを考えると、これで十分なのかなと気になるところですので、ぜひ継続的な検討が必要かなと思います。

研究指定については、国にしても都にしても、特に国はGIGAスクールをめぐって様々な研究をしようとしていますので、研究指定することによって学校が元気になるところもあると思いますし、できるだけ先に先にやっていくほうが、いろいろな意味で学校、それから市にとっても蓄積になってくると思いますので、ぜひ積極的に手が挙げられるような状況ができるといいなということで、要望しておきたいと思います。

○**教育長（浅沼昭夫君）** ほかにいかがでしょうか。

○**委員（平原 保君）** 意見と質問なのですが、歳入の2ページにあります都の補助金の中で、スクール・サポート・スタッフ配置支援事業費補助金、具体的には副校長等校務改善支援の拡充という項目についてです。162%の増ということで、非常に大幅に増になっていまして、副校長の支援等は非常に成果を上げているなと思いますので、ここが増になるのはいいことだと思いました。

ただ、括弧内の教育総務課所管事業との統合分という、そのこのところの意味が分からなかったもので、教えていただけたらと思います。

○**教育総務課長補佐（矢島彩子君）** 今回、校務改善支援業務の充実を考えておるところでございまして、教育総務課所管事業として各学校に事務職員の補助の方とシルバー人材セン

ターの委託事業として簡易作業業務を行う方がいらっしゃるのですが、この教育総務課で所管している事業を指導室の副校長等校務改善支援事業に一本化して、その中で財源として都補助金を申請していくものでございます。

○委員（平原 保君） 分かりました。ありがとうございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。

○委員（日野佳昭君） 意見を2つ、教育振興費の歳入、歳出についてです。以前から私、発言させていただいている、特別支援の支援員の待遇改善についてです。どこの項目に入るのか分からないのですが、ぜひ待遇改善をお願いします。

2点目は、幼稚園の閉園に伴って予算がなくなっています。幼稚園では発達障害の子たちを扱っているのが、今後保育園にお願いする形となります。来年度も含めて保育支援課で枠の増員はしておりません。ということは、幼稚園に入れなかった子たちは、保育園で今は受け皿がありません。今年どのぐらいの数か分かりませんが、保育園に入れず、親御さんが働けない方が多分これから増えてくると思います。今年、私の知っている範囲の中だけでも結構多いです。保育支援課にすくすく枠を増やしてほしいと言っているのですが、結局増えていません。発達障害のお子さんがあるご家族はかなり困っているはずで、ぜひとも保育支援課と相談して、発達障害の子たちの対応をよろしくをお願いします。今後医療的ケア児の問題も入ってきますので、その辺も考えたほうがいいと思っております。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ご意見ということですがけれども、先ほどの特別支援の支援員の項目、分かりますか。どこに項目が入るか。

○指導室主幹（目黒昌大君） すみません。ちょっとお時間ください。すぐ答えられます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。後でよろしいですか、今の部分。

○委員（日野佳昭君） はい。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。

○委員（新島 香君） 学校給食費についてなのですが、以前は結構未納のことが大分問題になっておりましたが、この令和3年度の歳入歳出の予算の中では、未納になっている方と、今、コロナの影響もあって収入が厳しくなって支払いが難しいという方もいらっしゃると思うのですが、そういう方々への支援制度など、そういうのも含めて、歳入歳出は予算が組まれているのかどうか教えてください。

○給食センター所長（谷本耕一君） 給食費の関係のご質問なのですが、基本的にはこのコロナの影響で、市民の経済状況が悪化しているような状況に対して、特別な支援措置というのは、特に給食センターのほうでは設けていない状況になっています。

前年度予算と歳入歳出も数値のほう予算額が増えておりますが、それは積算根拠を改めて見直した関係で、正しく実際の実情に合った数値に合わせたということで、両方とも増額になっておりますが、今後救済といいますか、支援措置については1つの検討課題かなと思っています。

○指導室主幹（目黒昌大君） 先ほど日野委員のご意見の中でございました特別支援教育の支援員の歳入歳出それぞれの予算科目でございますけれども、まず歳入から申しあげますと、A3の資料でいきますと、2ページになります。2ページの中段辺りになるのですが、45国庫支出金、10国庫補助金、20教育費国庫補助金、10教育振興費補助金の一番下

になる教育支援体制整備事業費補助金、こちらが国庫補助の歳入予算ということになります。

続いて歳出ですけれども、こちらは小学校費、中学校費それぞれに計上がございます、まず小学校費になりますが、A3資料でいきますと、2ページの小学校費、15教育振興費の2番目、特別支援教育推進事業費、こちらに支援員の人件費等の予算を積んでいるということになります。中学校費も中学校費という項、以下同じで教育振興費の中に特別支援教育推進事業費というものを計上しておりますので、ページでいきますと4ページの15教育振興費の上から4行目、特別支援教育推進事業費の中で支援員の人件費を計上しております。

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、日野委員からは所管をまたぐ課題についてもご指摘いただきましたので、それも踏まえて、今後考えていくということをお願いします。

ほかにいかがでしょうか。

○委員（新島 香君） 家庭教育事業に関しては、こちらの教育関係歳出歳入予算には入っていないでしょうか。教えてください。

○文化生涯学習課長補佐（楠本順子君） 家庭教育学級の費用につきましては、6ページの30社会教育費中段、社会教育振興費の公民館事業運営費の中に含まれてございます。こちらに地域で行う家庭教育学級、それからPTAに委託する家庭教育学級の費用が含まれてございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、お諮りをします。第1号議案「令和3年度予算に対する意見の聴取について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎第2号議案 令和2年度府中市教育委員会表彰について

○教育長（浅沼昭夫君） 第2号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○教育総務課長補佐（矢島彩子君） ただいま議題となりました第2号議案「令和2年度府中市教育委員会表彰について」お手元の資料に基づき、ご説明いたします。

府中市教育委員会では、府中市の教育文化の振興発展に貢献し、その功績の顕著な者及び他の模範とするに足る成績又は行為があった者に対し、府中市教育委員会表彰規程に基づき、表彰を行うことになっております。また規程に定める者のほか、委員会が適当と認めたときは感謝状を贈呈することができるとされております。

候補者につきましては、各小中学校から推薦をいただいた児童・生徒並びに職員について、所要の内部的な審査を経て、本定例会にお諮りするものでございます。

議案書を1枚おめくりいただき、2ページをご覧ください。

中学校についてご説明いたします。推薦は全部で4件あり、全て表彰に該当するものとして、貢献においても4件が候補者となっております。区分別件数といたしまして、スポーツ活動によるものが4件で、いずれも陸上でそれぞれ活躍したものでございます。

次に職員表彰についてご説明いたします。3ページをご覧ください。推薦は1件あり、対

象者は校内での活躍にとどまらず、本市教育行政の進展に多大な貢献をし、表彰に該当する者として候補者としております。

以上で説明を終わらせていただきます。なお、表彰式は令和3年3月3日水曜日の午後4時から、当教育センターでの開催を予定しております。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますか。

○委員（増淵達夫君） この表彰制度、とてもすばらしいものだなと思うのですが、この表彰の基準、それから審査の手続はどうなっているのかということをお教えください。

○教育総務課長補佐（矢島彩子君） まず基準についてですが、表彰規程がございまして、そちらに基づき、「府中市の教育文化の振興発展に貢献し、その功績の顕著な者及び他の模範とするに足る成績又は行為があった者」ということで表彰することになっておるのですが、詳細な基準につきましては、職員並びに児童・生徒、それから感謝状の贈呈ということで実施要綱を設けて定めております。

審査に当たりましては、小中学校からの推薦に基づきまして、教育委員会事務局の中で審査会を設け、その中で審査をしております。

○委員（増淵達夫君） ぜひこの表彰制度は今後も続けていただきたいと思っておりますし、特に今年度、コロナでいろいろな活動が制約を受けた中ですので、スポーツ活動だけではなくて、特にスポーツ・文化などの元来表彰されるだけではなくて、地道な努力をして、それが全体に波及していい効果が出たとか、そういったなかなか表に出てこない良い行いを拾い上げて表彰できるような、ぜひそんなところをさらに充実させていただければと思います。これは意見です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、お諮りをいたします。第2号議案「令和2年度府中市教育委員会表彰について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎第3号議案 令和3年度学校医等の委嘱について

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、第3号議案の審議に入ります。第3号議案は「令和3年度学校医等の委嘱について」ですが、日野委員への委嘱に関する内容が出てまいります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定により、日野委員は審議に参加することができませんので、大変恐れ入りますが審議が終わるまでご退席をお願いいたします。

（日野委員 退席）

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○学務保健課長（佐伯富丈君） 第3号議案「令和3年度学校医等の委嘱について」お手元

の資料に基づき、ご説明させていただきます。

幼稚園及び各小中学校に配置する学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱につきましては、学校保健安全法第23条の規定に基づき、教育委員会が行うものでございます。令和3年度の委嘱に当たりましては、府中市医師会、府中市歯科医師会、府中市学校薬剤師会からご推薦いただいた内科医33名、精神科医1名、眼科医10名、耳鼻科医5名、歯科医34名、薬剤師33名の合計116名の先生方に委嘱をお願いするものでございます。

委嘱の期間は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間でございます。

担当する学校医等につきましては、別紙資料の1ページから11ページに記載のとおりでございます。

恐れ入りますが、12ページの令和3年度学校医等新旧変更一覧表をお開きください。こちらは令和2年度との変更点でございます。1の退任される先生でございますが、記載のとおり3名となります。次に、2は新たに来年度委嘱いたします先生でございます。次に、3は受け持ち校が変更になる先生方でございます。

なお、今年度で退任されます3名の先生方には、府中市教育委員会より感謝状と記念品を贈呈する予定でございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますか。よろしいですか。ご意見はいかがでしょうか。

○委員（新島 香君） 薬剤師さんというのは、どういった基準で決められているのか教えてください。

○学務保健課長（佐伯富丈君） こちらは学校保健安全法施行規則第22条の2の環境衛生検査に従事するということの規定で設けているものでありまして、学校の飲料水及びトイレの水質の検査や教室の遮光や照明、教室その他における空気、暖房、換気などを定期的に点検いただいているものでございます。

○委員（新島 香君） 各学校のお近くにお住まいの薬剤師さんのような方が選ばれているのでしょうか。教えてください。

○学務保健課長（佐伯富丈君） 薬剤師さんにつきましては、医院というか、そちらを持っておりませんので、各薬局にお勤めされている方から、薬剤師会に調整いただいて派遣いただくのですが、基本的には学校から近い、対応が迅速に行える薬剤師さんを中心に選んでいただいていると聞いております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

○委員（平原 保君） 質問とお願いがあります。精神科医の先生のお名前が挙がりますけれども、学校では先ほどスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの話題も出ましたが、いろいろ対応が複雑化する諸課題に専門家のご意見をいただきながら対応していくことが求められていると思います。

そういったときに、心理の専門家としてスクールカウンセラーがいるのですが、さらにカウンセラーではない精神科医としてのご助言をいただいたり、また学校が困っているときに相談をしたいということがあったときに、その相談への道筋というか、システムのようなものはあるのですか。よろしくお願い致します。

○学務保健課長（佐伯富丈君） 定期的に相談をしていただく日程を調整しまして、各学校にいついつに精神科医さんの相談がありますのでご利用くださいということで、ご案内をしているところでございます。

○委員（平原 保君） 分かりました。では、学校のほうでもし必要があれば、そういうときに申し出ることができるシステムがあるということですね。よろしくお願ひします。ありがとうございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、お諮りをいたします。第3号議案「令和3年度学校医等の委嘱について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり決定といたします。

審議が終わりましたので、日野委員に入室いただきます。

（日野委員 入室）



◎報告・連絡

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、日程第4、報告・連絡についてですが、この件につきまして何か確認事項等がございますでしょうか。

○委員（増淵達夫君） 報告は（1）についてでよろしいですか。

○教育長（浅沼昭夫君） 5件の全ての項目についてとなります。

○委員（増淵達夫君） （1）の老朽化対策のところの別紙1の主な意見・要望のところの⑧なのですが、これは「総合の授業の中で出た意見は、分析して、実現に向けて検討してほしい」、これがどういう意味なのか、これは子どもたちから意見を聴取したのか。こころがよく分からなかったのて教えていただければと思います。

○学校施設課長補佐（遠藤勝久君） 今のご質問につきまして、子どもたちのご意見を改築事業の中に反映していくために、今の学校での課題とか新しい学校に期待するようなこととていうのをテーマに、総合の学習の授業を活用させていただいてご意見を募りました。

具体的には、今年度の夏休みの前に、コロナ禍の状況ではあったのですが、小学校6年生の総合学習の授業で10単元ぐらい、10時間ぐらいを使って、三小の場合は個別に、六小の場合についてはグループで、それぞれ学校の改築について、子どもたちの意見をまとめていただいた内容となっております。

○委員（増淵達夫君） ちなみにいくつか例示で構わないのですが、どのような意見が子どもたちから出ているのでしょうか。

○学校施設課長補佐（遠藤勝久君） 三小につきましては、校庭にあるおとぎ山とか桜の木というところで、どちらかというて施設に関するようなことが特徴として表れておりました。

また六小につきましては、いろいろな活動、六小は縁日やおやじの会など、地域活動が結構盛んな学校になっておりますので、そういったところが今後の改築の中で反映していきたいと出ている中身となっております。

○委員（日野佳昭君） 意見なので聞くだけで結構なのですが、増淵委員の話で、（1）における主な意見・要望について同じなのですが、とてもいい、聞くべき意見

が入っていると思います。六小の学童クラブの跡地について、正門の位置について、六小前の歩道について、また、両校共通ということでは少人数学級について、この辺の意見もよく覚えておいて、今後計画が出てきたときに意見を述べさせていただきたいと思いますので、ぜひその辺りを考慮していただければと考えております。

それから、(3)の八ヶ岳府中山荘臨時休館日についてなのですが、4月13日、14日のセカンドスクールというのは、これは臨時休館の話なのですが、セカンドスクールは4月はとても無理ではないかなと、そういう思いがあります。もしコロナの関係で中止になったときの代替案は早目に検討して、すぐに対応できるようにして、あとは子どもたち、親御さんたちにもその辺のところは連絡しておいたほうがよいと考えております。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。ご意見と課題の指摘ということで、よろしく願います。

ほかにいかがでしょうか。

○委員（新島 香君） 来年度のセカンドスクールについては、全校府中山荘ということではよろしいのでしょうか。教えてください。

○学務保健課長（佐伯富丈君） 先ほど平原委員の予算の質問の中でも説明が足りなかったところもあるのですが、今年度は民間の施設を活用したセカンドスクールの実施ということで、3校ほどモデル校で、長野県の飯山市1校と長野県の茅野市に2校予定していましたが、コロナで中止になってしまいましたので、来年度も引き続き、茅野市につきましては2校、長野県の飯山市につきましても2校で実施をするように今、進めているところでございます。

予定は10月の実施を計画しておりまして、長野県の飯山でのセカンドスクールにつきましては、片道200キロを超える距離であることと、ホテル泊と民泊を組み合わせたもので計画しておりますので、飯山市については3泊4日での実施をモデル校の学校と調整をしているところでございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにございますでしょうか。

それでは、報告・連絡について了承いたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他ですけれども、何かございますでしょうか。よろしいですか。



◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、続きまして、日程第6、教育長報告に移ります。

活動状況につきましては、別紙の「令和3年第1回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」のとおりでございます。

なお、この報告書は、令和2年12月12日から令和3年1月15日までの活動内容となっております。

私から1件、報告をいたします。

1月11日成人の日記念「青年のつどい」の記念式典に出席をいたしました。今年の新成

人は2, 712人です。成人の日の「青年のつどい」は、新型コロナウイルス感染防止のために、出身中学校別に午前と午後の2部構成で行う予定でしたが、緊急事態宣言の発出など感染状況が悪化したことから、急遽J:COMの放送とオンライン配信で、式典のみ実施することになりました。

式典は、当初は実行委員会が計画したとおりに午前と午後の2回に分け、司会者そして代表の挨拶も交代で行われました。新成人が中学生の先輩として、社会人としての自覚を持つように工夫された恒例の連合合唱団の合唱のプレゼント「翼をください」は、手話を交えた映像を通して行われました。かつてお祝いの合唱を贈った中学生たちが、今度は祝福される側の新成人になっています。動画を見入った新成人の方々も多くいたのではないかと思います。

また式典のしおりも、中学校でご指導いただいた先生方から熱いメッセージが寄せられ、写真とともに掲載されておりますので、この冊子は全ての新成人に郵送しました。

今回は感染防止のために、成人式を中止する自治体が数多くある中で、実行委員会の思いを受け止めていただいた関係者の皆様に、教育委員会としてもお礼を申しあげたいと思っております。私からは以上です。



◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況については別紙のとおりでございます。

まず、日野委員、お願いをいたします。

○委員（日野佳昭君） 私の報告は1月19日の話なのですが、今まで3回やっているのですが、ウェブ会議、多摩地域こども救命センターブロック会議に参加しました。

多摩地区で小児科のある病院では、小児の入院患者数は、救急外来枠数は激減しております。小児病棟の閉鎖またはベッド数を減少させ、コロナ病棟を増やしているそうです。

しかし、今のところ救急入院に関して、大きな問題は起きていないそうです。今後対応不能になった場合は、病院間で調整していくそうです。

興味深い報告として、神経性食思不振症や過食症が極端に増加しているそうです。私たちの診療所でも不登校が増加傾向にあり、長期のストレスが子どもたちへ影響しているようです。自宅での生活指導に工夫が必要です。家庭でのICTを活用することも有効だと思います。

さて、府中市の医師会では、PCRセンターの機能が拡大され、また、昨年より市内の約30の診療所でPCRの唾液検査ができるようになっております。疑いの症状があれば、病院にかかれば検査ができるような体制を整備しました。

保健所に関してですが、保健所の機能は崩壊していると言ってもよい状態です。PCR陽性者の入院等の調整が滞り、濃厚接触者への対応も不十分です。電話もなかなかつながらないと聞いております。彼らは年末年始も休まず、涙目で働いてくれております。府中として、何かお手伝いできないでしょうか。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。それでは、平原委員、お願いいたします。

○委員（平原 保君） 私は12月22日、府中第一小学校の第57代わかば鼓笛隊メジ

ヤーバトン返還式に出席しました。子どもたちの晴れの舞台にふさわしく、穏やかな天気にも恵まれて、校庭で演奏会が行われました。

コロナ禍にあって、今年度わかば鼓笛隊の活動にも大きな影響がありました。活動期間の短縮、活動方法の制約など、感染防止への適切な対応を取りつつ、活動をしてきたとのこと。当日の演奏会においても、随所にコロナ感染予防対策がなされていました。こうした中であって、先生方の熱心な指導と保護者、地域の方々の温かい見守りにより、6年生の子どもたちは今できることに精いっぱい取り組んできたそうです。こうした皆さんの思いや努力が結集したすばらしい演奏会でした。

再び緊急事態宣言が発出され、厳しい状況にあります。府中市内全校において、子どもたちの健康・安全の対策を徹底して、3学期の教育活動が推進されています。その一端として、学校だよりやPTA広報紙に各校の子どもたちの活躍や優れた作品などが紹介されています。今後もコロナ感染防止のための制約のある教育活動となりますが、児童の健やかな成長と学力向上を目指して、教育活動が推進できるよう支援してまいりたいと思っています。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。それでは、新島委員、お願いいたします。

○委員（新島 香君） 遅ればせながら、本年もどうぞよろしく願い申し上げます。昨年と違い、明るい一年の訪れを期待させる晴天で迎えた元旦でしたけれども、1週間もたたずに緊急事態宣言発出となり、成人を迎えた方々は人生で一度きりの成人式もオンライン式典になるなど、口惜しいスタートとなりました。

2学期の学校だよりを目を通せば、先生方の知恵と工夫、そして何より熱意と執念で、本来行われるはずだった各行事の代替行事が様々行われ、児童・生徒がどれほどの学びと経験を得る機会になったかと、学校としての役割、そして必要性や重要性を改めて感じました。さあ、3学期もとの思いでしたが、再び様々な学びを得る機会を延期や中止にせざるを得なくなり、本当に残念です。

しかしながら、命は何よりも大切なもので、この1年本当につらく、苦しく、悔しいことばかりでしたが、日々の生活を支えてくださっているご家族の皆様、そして身近で頑張ってください先生方、コロナウイルスと闘っている医療従事者や関係されている全ての方々から児童・生徒が多くのことを学び、成長していることもまた間違いなく感じます。GIGAスクール構想など早急に進め、困難な状況でも学びを止めずに済むよう、またよりよい学びにつながるよう、今年も教育委員会総力を挙げ、知恵と工夫で窮状を乗り越えていければと思います。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは、増淵委員、お願いいたします。

○委員（増淵達夫君） 1月も中旬ですので、各学校では次年度の教育課程編成と、学校評価が並行して進んでいると思うのですけれども、今年度の市内の小中学校における教育活動の総括を踏まえた次年度の方針、それをどうするのかということを検討する必要があると思っています。

特に気になっているのは、先ほど日野委員からもありましたけれども、子どもたちのメン

タルの部分はどうなのか、個人情報の問題もありますのでオープンな議論というのはなかなか難しいところがあるかと思いますが、大人の自殺の問題が時々報道されます。全国的に見ると、自殺の数はずっと減ってきたはずなのですが、今年多分増えると思います。しかし、18歳以下の子どもたちに限っては、文部科学省の問題行動調査でずっと今まで増えていますので、それでいくと今まで以上に増えるのではないかなと思っています。市内であるかどうかは別としても、やっぱりそういったことも踏まえて、子どもたちのメンタルケアをどうするのかということなど、何らかの検討をする必要があるのかなと思っています。

今後どういうふうに変化してくるか分からないので、事務局は柔軟に、機動的に対応できるように、一定の方向をこの教育委員会で確認するとか、それから今度の総合教育会議で確認するとか、しっかりと足元の、ある程度基本的な考え方を共通した上で、柔軟に対応できるような、そんな対策が必要なかなと思っています。それが大きな1つです。

それからもう1つは、学校評価についてですが、学校だよりにいくつか保護者のアンケートが掲載されていました。学校評価どうするのかかなと思っています。今年度ことごとく予定していたものができませんので、そういった意味でマイナスになってしまうのではないかと、いうことを気にしています。今回はやむを得ないことですので、ぜひそれをマイナス評価にするのではなくて、何らか学校の様々な工夫、それをポジティブに捉えられるような、そして学校の取組を発信していただければなということを改めて思います。評価についても、感覚的な評価ではなくて、具体的な学校経営の充実につながるような設問ですとか、評価基準ですとか、そういった辺りが全体に浸透するといいなと、学校だよりを見ながら思いましたので、ぜひその学校評価の形で進められればなと思いました。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは、これで令和3年第1回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。



午後2時56分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証
するため、ここに署名する。

令和3年7月15日

府中市教育委員会教育長

酒井 泰

府中市教育委員会委員

増淵 達夫